

(学校運営協議会・報告様式)

令和8年度 第2回 神戸小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和8年8月27日(木) 13:30~15:00

2 場 所 神戸小学校図書室

3 あいさつ(学校長、委員長)

危険な暑さが続くが、先日の登校日には、子どもたちが夏休みの作品を抱えて登校していた。旅行先の話やゲームの思い出など、生き生きとした様子も見られ、夏休みを経て子どもたちが心身ともに大きく成長していると感じる。今後、不安なこともあるかもしれないが、引き続き子どもたち一人ひとりに寄り添った指導をお願いしたい。今回の協議会は「学校保健」をテーマである。子どもたちの健康は何よりも優先すべき大切なことである。学校医や薬剤師の先生方からも、専門的な視点でアドバイスをいただきたい。よろしくお願いします。

4 協議内容

(1) 本校児童の身体に関する状況について

○児童の健康状態について<保健担当>

保健室来室状況、曜日別集計、種類別集計、外科・内科別集計、発生場所別集計、身長体重の様子、各健診の結果等について説明

○給食・食育について<給食・食育担当>

給食実施状況、調理の工夫、残食の傾向、食育の取組、委員会の取組等について説明

(2) 本校の教育活動について(いただいた意見等)

○ 体育の授業(跳び箱・マット運動)で怪我が多い傾向がある。授業開始直後や、意欲が高いゆえの無理な動きが要因として挙げられる。距離感や安全への配慮についても継続的な指導が必要である。

○ 肥満指導や、不登校傾向にある児童への対応(登校前のアプローチや情報共有)を今後とも組織的に進めていってほしい。

○ 歯科の治療率は改善の余地がある。学校の歯科健診はあくまでスクリーニング(選別)であるため、半年に一度は歯科医院での定期検診を受けることが推奨される。

○ 尿検査などの健康診断は目安であり、結果が気になる場合は医療機関での検査を促すことが必要である。

○ 学校環境面では、エアコンの温度差の解消や、照明環境の改善が期待される。

○ 頭痛を訴える児童が多く、睡眠不足やストレスのほか、長時間のスマホ利用(姿勢による首のコリ)や眼の疲れが関連している可能性があるのでは。

○ 薬の「オーバードーズ(過剰摂取)」のリスクについて、正しい服用の指導が重要である。

「嫌なことを忘れたい」という心理がオーバードーズ等の背景にある可能性が指摘される。
悩みを聞き出せる存在として保健室の先生の役割が重要である。

- 地域と連携した食育体験の機会について意見が出たが、給食の学校独自での食材調達
は安全管理上、また、市の方針により難しい面がある。
- 合成洗剤の匂いに敏感な児童への配慮や、自然環境（ケシの自生など）への注意喚起に
ついて。

(3) 学校関係者評価

学校は学校関係者評価の表に沿って取組を進め、指標をもとに振り返りを行う。2 月には取組状況や成果・課題をもとに、委員の皆様に関係者評価をしていただく。それに向けて、子どもたちの具体的な様子、職員の指導の様子を知る機会にしていだけるよう、委員の方々への授業参観を 10 月に設定する。これ以外の機会にも、学校へ立ち寄った際に、普段の授業の様子をどんどん見ていただきたい。

5 CS コーディネーターより

不登校対応及び児童の自己肯定感を高める取り組みが評価されてる。今後も保健室や給食など学校全体で連携して児童の状況を把握し、保護者・地域・専門家が同じ目線で子どもたちをサポートしていく体制を継続していったほしい。